

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月15日

事業所名 株式会社親愛 にじいろテラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令を遵守し、利用者さんに合わせて適切な人員配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		開設時より車いすを想定して施設を作っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	スタッフ、利用者による評価を受け、MTを行い業務改善へ繋げています。	スタッフ、利用者による評価をしていますが、外部評価の予定はありません。必要に応じて実施します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修には積極的に参加、社内にて資質向上研修を定期的実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的にあセスメントを取り放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チームで立案し1か月のプログラムを公表しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		チームでMTし、児童らに合わせた日替わり、月替わりのプログラムを組んでいます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日、平日、児童らに合わせたプログラムを毎日話し合っ組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎日、児童らに合わせた個別活動、集団活動を組み込んでいます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の開始前の支援確認MTを実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後のMTで支援状況の確認作業と改善を話し合っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録と、情報共有を徹底し改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期モニタリングは毎MTにて共有し見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者等が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療スタッフがいないので、主治医の意見を確認して対応しています。現在医療ケアの必要な児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現在はまだその機会がないが、情報提供の用意はある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在はまだその機会がないが、情報提供の用意はある。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子ども部会に参加して繋がっています。研修も受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		地域の学校(支援学校ではない)に通っている児童が多く、特に機会を設ける予定はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		地域での協議会に積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やモニタリング時に保護者と話す時間を設けています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者対象に定期的に講座を開いています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明と重要書類を提示しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時、モニタリング時など、保護者様にお話しする機会を設けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に保護者対象の講座を開き、その後交流の機会を作っています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		口頭や連絡帳でいただいた苦情に対して、毎MTで話し合い迅速かつ適切に対応していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログを通じて日々の活動内容や、予定、毎月の定期報告等をしています。連絡体制はメール等で常時情報を共有しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		ペーパー、端末ともロックできる場所に保管、端末は全てパスワードロックがかかっています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ICT、ペーパー等で行っています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		色々な定期講座を開き地域住民にもチラシ等で開催を告知し参加もできるようになっています。		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成し研修を実施しています。	これからブログまたはホームページなどで公開し、さらに保護者への周知に努める予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		チームで話し合い、慎重に決定します。保護者への説明を実施し、計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書があれば、保護者から情報を聞き取り、個別に支援計画に組み込んで対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			